

大和魂再生

ニッポンの敵

酒井信彦



◆ 2 ◆

さかい・のぶひこ 元東京大学教授。1943年、神奈川県生まれ。70年3月、東大大学院人文科学研究科修士課程修了。同年4月、東大史料編纂所に勤務し、「大日本史料」(11編・10編)の編纂に従事する一方、アジアの民族問題などを中心に研究する。2006年3月、定年退職。現在、明治学院大学非常勤講師や、月刊誌でコラムを執筆する。著書に「虐日偽善に狂う朝日新聞」(日新報道)など。

朝鮮戦争終結を邪魔した張本人

陸を敢行して形勢を逆転、同年12月末には北朝鮮軍を国境近くまで追いつめた。ところが、この時、中国

軍が突如参戦して国連軍を押し返し、以前の状態に戻ってしまったのである。結局、53年に休戦協定が成立して、そのまま現在に至っている。

日本人は400年前の豊臣秀吉による朝鮮出兵以来、朝鮮人と戦争していない。だが、韓国人は、わずか60年前に朝鮮戦争で中国人と戦争をしている。そこでは中国軍による、韓国民衆に対する大量虐殺が行われたことは間違いない。

しかし、韓国政府は、その戦争犯罪を全く問題にすることはしない。ひたすら中国に対しては、媚(こび)を売り続けている。

韓国

第2次世界大戦後、米國とソ連が対立していた時代を「冷戦体制」というが、これは実は正確な表現ではない。冷戦とは戦争にならなかった状態をいうのだが、アジアでは大規模な戦争、つまり「熱戦」が2つもあった。朝鮮戦争とベトナム戦争である。冷戦とはあくまでもヨーロッパ中心の見方である。

朝鮮戦争は1950年6月25日、北朝鮮軍の韓国侵入で開始され、間もなく、

それは朝鮮戦争とその後の経過を見れば簡単に分かる。

韓国や米國などの国連軍は、半島の南東端に追いつめられた。そこで、マッカーサー総司令官は、朝鮮半島の西側、黄海に面した仁川(インチョン)に敵前上

本当の敵は中国なのに 日本批判で民族悲劇を隠蔽

では、この朝鮮民族最大の悲劇を生み出した、責任者は一体誰なのか。

最初は第2次大戦後、朝鮮半島を南北二分して占領した、米國とソ連である。

次いで、朝鮮戦争を起した北朝鮮である。ただし、最後の責任者といえるのは、明らかに中国である。

朝鮮戦争は、朝鮮民族の歴史の中でも「最大の悲劇」といってよい。朝鮮民族同士が殺し合い、しかも戦場がほとんど朝鮮半島全土に及び、膨大な犠牲者を出したからである。朝鮮戦争は時間的には短期間に行われ、ベトナム戦争のよう



中国の責任はそれだけではない。北朝鮮という、自国民を餓死させても平気な異常国家が、いつまでも存続できているのは、中国という後ろ盾があるからである。北朝鮮の国民が苦しむ

朴大統領は中国に怯えているのか (AP)

結局、朴槿恵(パク・クネ)大統領率いる韓国が、歴史問題で日本を執拗(しつよう)に批判し、「100年恨む」などと言いつつ、

世界第2位の軍事大国が怖くてしかたがなく、現実には存在する民族の巨大な悲劇を、懸命に隠蔽するためであると、判断せざるを得ない。